

青中だより

4月



平成26年4月8日発行

港区立青山中学校

〒107-0061

港区北青山一丁目1番9号

電話 03-3404-7522

青山中学校開校68年目の春を迎えて

校長 福井 正仁

昭和22年、現行学制（6・3・3・4制）の実施と同時に都立第一中学校（現日比谷高校）に併設して開校した本校は、68年目の春を迎えました。今年10月21日は、67回目の開校記念日となります。今日の青山中学校があるのは、長きに渡り地域の皆様にご協力いただいた賜物でございます。とりわけ、青山小学校、青南小学校をお借りしていた時代から、多くの方々のご尽力により、昭和30年に現在地に移ることができました。念願の校舎独立が実現し、旧陸軍大学の荘重な校舎を使用させていただきました。以来、都心にありながら緑豊かな環境の下、1週250mの広い校庭も存分に活用し、一人一人の生徒が、地域とのつながりも強めながら、中味の濃い経験を重ね、充実した学校生活を送っております。

新入生49名（通常の学級43名、特別支援学級6名）を迎え、各学年2学級、特別支援学級1学級、全校生徒数は前年度とほぼ同数の166名で、平成26年度を開始します。職員は、教員が2名増員となりました。数学において、引き続き、1学級を二つに分ける習熟度別少人数指導を実施しますが、これまでの講師に代わって専任教員が配置されました。また、理科の非常勤教員も追加配置となり、その結果、英語、数学、理科の教員が2名となり、指導体制の充実が図られました。一方、港区立小・中学校全校の全面機械警備化に伴い、警備職が廃止となり、学校施設開放等の業務は、シルバー人材センター派遣職員が対応することとなりました。

青山中学校は、「文武両道」、「自主自律」を校訓とし、「真剣な学習」、「節度ある行動」を生徒目標として教育活動を展開しております。「さわやかな挨拶が飛び交う温かい学校」との評価を得ておりますが、温かい中にも一人一人を徹底的に鍛える指導を進め、豊かな心、学力、体力のバランスの取れた育成を図ってまいります。

平成26年度の重点として、授業の充実ため、指導内容・方法の工夫を促進し、授業規律の徹底を図ります。また、いじめの未然防止、不登校の予防、規範意識の向上、ソーシャル・スキルの育成に努めます。毎学期の三者面談、スクールカウンセラーの全員面接、6月と11月の教育相談月間中の取組みの実施等により、一人一人の生徒が自立し、活躍できる指導を進めます。さらに、地域の美術館等に出かけて実施する体験活動、専門家等を招聘する「出前授業」の充実や漢字、数学、英語の各検定の実施を進めます。学校公開日を年間30日（土曜日17日、平日13日）設定しておりますので、是非ご来校いただき、生徒の活動をご覧ください。

毎年2年生を対象に実施している職場体験ですが、今年度は9月17日（水）～19日（金）の全日3日間に増やし、キャリア教育の充実を進めます。また、1年生の職場訪問は、平成27年2月6日（金）午後実施します。個別にご依頼させていただきますので、倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今年度も引き続き、皆様には、開校68年目を迎えた本校の教育活動へのご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

「青中だより」バックナンバーは本校のホームページ(<http://www1.r4.rosenet.jp/aoyama-j/>)でもご覧いただけます。